

平成19年度 事務事業評価表		担当	建設部 道路建設課			内線等	2273
事務事業名	小規模工事事業				事業コード	3. 建設事業(ハード事業)	
根拠法令等					A法令		

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
------	--------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	新設及び改良する市道に関連し、
手 段	簡便な手続きにより早期に排水、取付け及び関連工事を施工し、
想定する成果	交通の安全、道路整備の促進を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
実施路線数	8路線	7路線	5路線
件 数	8件	9件	5件
工 事 費 (委託料含)	4,631千円	7,103千円	3,900千円

成果指標

成果指標名	工規模工事費の割合	
成果指標の説明	小規模工事費 / 道路建設課工事費総額 × 100	

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)			平成19年度決算(実績)			平成20年度予算(計画)		
成果指標		5.16%			4.05%			1.26%		
成果指標		-			-			-		
事業費	事業費	4,631			7,103			3,900		
	人件費	2,335			1,562			1,569		
	(人数)	正規	0.3	非常勤	正規	0.2	非常勤	正規	0.2	非常勤
	合計	6,966			8,665			5,469		
財源内訳	国									
	県									
	市債									
	その他									
	一般財源	6,966			8,665			5,469		

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	市民生活に直結する市道の改良を行い、あわせて、新設道路関連工事として施行、幹線道路の事業進捗に支障をきたすことなく実施することができた。
経済効率性	3	3	3	3	工事が短期で完了するため、投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	3	3	投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	12	12	12	12	
施策への貢献度	3	-	3	-	市民生活と交通安全に直結し、幹線道路関連を進めるうえで必要な事業であり、非常に効果がある。
合計	15	12	15	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	快適なまちづくりに必要な道路整備事業の進捗が図れた。
------	---	---	---	---	----------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
なし。
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

小規模工事費

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

